

静岡中心市街地における人流データ社会実験の概要

1. 人流データ活用への期待

人流データとは？ → 「人がいつ、どこで、何人いるのか」を把握できるデータのこと
時間ごとの人の量や動き、滞留時間等がわかります。

データの取得方法 → 携帯電話やアプリの GPS、防犯カメラ等の画像解析、各種センサー(赤外線センサー、Wi-Fi パケットセンサー、ビーコン)等を用いてデータを取得します。



静岡市では、Wi-Fi パケットセンサーをメインに使います。
左は、昨年度、試験的に実施した際のデータです。センサー(赤丸)間の人(赤い点)の動きを数と時刻で表現しています。

何に使うの？ → 防災やまちづくり、観光などの様々な分野において地域課題解決への活用が期待されています。

社会実験が目指すところ … 多くの人々をまちに呼び込み、賑わいづくりを推進したい！

● 効果的な賑わいづくり活動につなげる

賑わいづくりを目的としたイベントの開催や公共空間の利活用を行う際、人の流れを詳細に把握できれば、「より効果的な方法」を企画したり、試しにやってみて効果を比べたりすることができます。



● まちの遊休不動産の活用につなげる

空き店舗や空き地などのまちなかの不動産資源。人の流れに加えて、年代や性別など客層がわかれば、どんな店舗が求められているのか、今の時代や場所、ターゲットに合わせた不動産の使い方を見つけることができます。

2. 今年度の社会実験で明らかにしたいこと

- ① 技術的な可能性を探る … センサー等を用いることで、まちなかの人の動きを取得できるのか。
- ② “見える化”表現の工夫 … 取得したデータで、「平時とイベント時」による人の動きの変化などが表現できるのか。

3. 調査の方法

調査エリア 静岡地区中心市街地活性化エリア内
※ 調査エリアは別図を参照のこと。

取得するデータ

① Wi-Fi パケットセンサー調査

- ・ Wi-Fi 設定 ON のスマホ等の端末が発信しているパケットをセンサーが受信し、端末固有の ID と受

信した時刻を記録する。

- ・ エリア内の約30箇所にセンサーを設置して、量・滞在時間・移動経路を分析する。
- ・ Wi-Fi パケットセンサーで取得したIDはハッシュ化して個人を特定できないように処理したうえで適切に保管する。



Wi-Fi パケットセンサーのイメージ

※ センサーは、電源が必要で、データ容量にも限りがあるため、期間中、何度か付け外しを行います。

② カメラ映像解析調査

- ・ エリア内に実験用カメラを複数台設置し、撮影した映像を AI で分析し、歩行者の数を計測する。
- ・ Wi-Fi パケットセンサーは実数計測が不可能なため、カメラの結果を用いて実数への変換を試みる。
- ・ カメラ撮影データは、外部に公開することなく、計数作業の終了後に破棄する。それまではコンソーシアムの責任で厳重に保存する。

③ カウンター調査

- ・ 調査員を配置し数取器を使い、歩行者の数、属性(性別、年代)のデータを取得する。
- ・ Wi-Fi パケットセンサーの取得データの实数への変換、属性情報の追加に用いる。

4. スケジュール

- 7月、8月 プレテスト(センサー設置箇所の確認、データ取得テスト、実数との比較調査)
- 9月、10月 平時とイベント時での調査 (3~4日間の調査を複数回実施)
- 11月下旬 来街者調査(中活協)に合わせた調査
- 11月~1月 分析
- 2月、3月 結果のとりまとめ → 公表(オープンデータ)

5. 次年度以降の展開

- コンソーシアムによる実証実験の継続実施
- 「人流データ」の活用方策を継続検討
- 社会システム実装を目指した「ビジネスモデル」の検討

6. 社会実験の実施体制

社会実験の実施にあたり、産官学が連携して実施するため「静岡市人流データを活用したまちづくりコンソーシアム」を立ち上げました。データの取得や分析、検証は、コンソーシアムが主体となって実施します。参画する団体は以下のとおりです。

- 法政大学
- I Love しずおか協議会
- 静岡市中心市街地活性化協議会
- 昭和設計株式会社
- 静岡市

事務局

静岡市 道路計画課 企画係 担当 堀井、亀谷 TEL 054-221-1239

※ ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

別図

社会実験の調査対象とするエリア

※ 静岡市中心市街地活性化基本計画の静岡地区区域と同様のエリアとする。

